

豊明市行政評価制度 「事務事業」評価票

- 4段階評価結果
- | | |
|---|------------------------------|
| A | : 上位目的である施策に貢献しているので継続する |
| B | : 事務事業の実施手法や環境（予算的・人的）に改善が必要 |
| C | : 縮小等、事務事業としての見直しが必要 |
| D | : 事務事業の廃止が相当 |

1 ■ 事務事業の概要

1-1 事務事業の名称	普通救命講習会等事業（主要事業）								
1-2 担当	部	消防本部	課 又は施設	消防署	係	救急第3係	評価票作成者	救急第3担当係長 大川邦博	
1-3 総合計画における施策の体系	①節	生活環境 「安全・安心で、うるおいのあるまちづくり」			③基本施策	消防・救急		コード	1- 3 -2
					④単位施策(中)	救急体制の充実		コード	1-3 - 2- 3
	②項	生活安全・安心			⑤単位施策(小)	普通救命講習会等の充実		コード	1 -3-2-3-2
1-4 事務事業の目的の精査	対象と対象の数	豊明市民及び市内在勤者		意図（対象を事務事業によってどのような状態にするのか）	大規模災害及び家庭・事業所におけるの傷病者発生時に、救急隊到着までの応急手当が実施できるように、応急手当の普及啓発活動を推進して、救命率の向上を図る。				
1-5 事務事業の内容	命にかかわる重大な病気や怪我をした時、そばにいる人の適切な救命手当が傷病者の命を守ります。 尊い命を救うために心肺蘇生法、AED（自動体外式除細動器）の取扱い講習を行い、より多くの市民に救命手当の知識、技術を身につけていただく。								

2 ■事務事業実施の状況

2-1 事務事業の実施における基本認識		事務事業実施にあたって心がけた改善の取組み			社会状況等の事務事業がおかれる環境把握			市民ニーズの認識			
	平成23年度	一般公募の普通救命講習受講者の増加を図るため、比較的受講希望の多い曜日と時間に変更した。AED設置施設での講習は、依頼の増加を図るため、講習の案内をすると共に要望を確かめ対応策を練る必要がある。東日本大震災により、東海・東南海地震への備えとして応急手当を広める良い機会である。									
	平成24年度	Web講習（約1時間の講習により、実技講習2時間のみを消防署等で受講することにより普通救命受講扱い）、救命入門コース（90分）、普通救命講習を二日間に別けての受講等、受講希望者の時間的負担を軽減できる制度を取り入れた。普通救命講習の受講者が減少しているのに対し、一般救急講習の受講者が大きく増加しているのので、応急手当に関する市民の関心は高いと思われる。									
	平成25年度	一般公募の普通救命講習1については、前年度21回募集し10回（受講者数4名以上で開催）の開催となり約半数（47.6%）の講習が受講生不足のため未開催となった。未開催の講習増加の原因として開催数を増やしたことによる受講生の分散が考えられるため、次年度については開催数を半減（月1回開催）することにより、安定した定期開催を行いたい。									
	平成26年度										
	平成27年度										
2-2 総合計画における単位施策成果指標	事務事業成果指標名				前期目標値(単位)	後期目標値(単位)	指標の説明				
	普通救命講習会等受講者数(人)				2,700(人)	3,800(人)	AED（自動体外式除細動器）の普及に伴い、AED取扱いを含めた救急講習を推進することにより、現状値に毎年50人程度の増加を目標とした。				
2-3 成果指標に係る活動実績とコストの推移（アウトプット分析）		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	活動実績 a (単位)	112回(3,870人)	127回(2,989人)	137回(4,311人)	150回(4,337人)	155回(3,615人)	133回(4,002人)	125回(4,592)	151回(4,823)		
	直接事業費 b (千円)	230	198	156	161	269	255	96	123		
	人件費 c (千円)	2,178	2,989	1,585	1,688	1,614	1,493	1,374	1,576		
	合計コスト d (b+c) (千円)	2,408	3,187	1,741	1,849	1,883	1,748	1,470	1,699		
	単位コスト d/a (千円)	講習会1回当たり 21.5	講習会1回当たり 25.1	講習会1回当たり 12.7	講習会1回当たり 12.3	講習会1回当たり 12.1	講習会1回当たり 13.1	講習会1回当たり 11.8	講習会1回当たり 11.3	当たり	当たり

アウトプット実績（活動数値）の補足説明 → 活動実績：普通Ⅰ・Ⅱ救命講習32回(382人)、上級救命講習4回(27人)、一般救急講習115回(4,414人) 計151回(4,823人)。
人件費：普通Ⅰ・Ⅱ救命講習{(Ⅰ32回×3h+Ⅱ0回×4h)×2人+上級救命講習(4回×8h×2人)+一般救急講習(115回×1h×2.5人)}×2,900円=1,576,000円
直接経費：講習資料代(テキスト、フェイスシールド他) 300円×409人=122,700円

2－4 成果指標に 対応する実績と達 成度の推移		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	指標対応実 績（人）	3,870	2,989	4,311	4,337	3,615	4,002	4,592	4,823		
	後期目標値 に対する達 成度（％）	101.2	78.7	113.4	114.1	95.1	105.3	120.8	126.9		

3 ■ 事務事業の自己評価結果

[illegible]

